鎌倉朝日新聞社
広告をお待ちしています
地域の活性化のためにも
TEL 0467(24)8553
FAX 0467(23)1205

お掃除サービス・家事お手伝いサービスなら
ダスキンメリーメイド鎌倉店
☆エアコンクリーニングなどのプロのおそうじ
ダスキンオークラサービスマスター
0120-3-82820
●ダスキンオークラトータルグリーン(造園と庭木の管理)も好評受付中です!!
ダスキンオークラ 検索
www.duskin-city.com

鎌倉大町歯科
KAMAKURA OMACHI DENTAL
歯科・矯正歯科
(各種保険取扱／初診　急患随時受付)
鎌倉市大町4−1−7
(木曜、日曜、祝日休診)
☎0467-81-4488
http://www.kamakura.dental/index.html

パリ五輪 体操で「金」

鎌倉 岡・杉野両選手に市民栄誉賞

パリ2024オリンピック体操競技に出場し、金メダルを獲得した徳州会体操クラブ所属の岡慎之助選手(20)と杉野正尭選手(25)が8月21日、鎌倉市役所を訪れ、鎌倉市から市民栄誉賞の表彰を受けた。

鎌倉市役所本庁舎の玄関で大勢の市民の出迎えを受けた両選手は明るい笑顔で応対し、庁議室で松尾崇鎌倉市長を表敬訪問した。

金メダルを手に岡選手(左)と杉野選手=8月鎌倉市役所で

松尾市長は両者の健闘を称えると、岡選手は「歴史を刻んだと思っている。これからも鎌倉の力になれたらうれしい」、杉野選手は「最後まで力を発揮できた。鎌倉は海があって、癒しの時を過ごしている」と話した。米田功監督は「苦しい展開だったが最後まであきらめなかったことに、市民、国民が勇気づけられた」と振り返った。そのあと、本会議場で表彰式が行われ、両者に表彰状と記念品の鎌倉彫の目録が手渡された。

市民栄誉表彰は、市内在住で、学術、文化、芸術、スポーツなどの分野で功績の顕著な人に授与される。

岡選手は岡山県出身、鎌倉在住6年、杉野選手は三重県出身、鎌倉に4年住み、余暇には海沿いのドライブなどを楽しんでいる。

買物困難者に 移動販売

鎌倉・二階堂

買い物困難者などを支援する移動販売の取り組みが、鎌倉市二階堂で行われている=写真。

きっかけは、緑苑台地区の高齢者のサロンで、昔あった「ご用聞き」のことが話題にのぼり、「あったら便利」ということで、鎌倉市社会福祉協議会の呼びかけで2022年9月から始まった。野菜は横浜の真中青果、魚はサカナヤマルカマ(今泉台)、パンは鎌倉ベーカリー(腰越)の3者が各々車で店を開いている。

開催は、月2回、隔週木曜日の11時30分〜12時、クロスハート二階堂駐車場(二階堂267−67)、12時15分〜12時45分、永福寺跡(亀ヶ渕橋そば)、13時〜13時30分、鎌倉宮の3カ所。

今年4月から二階堂親和会が主催している。これまでの1日当たりの買い物客は3カ所合わせて約50人。地区の民生委員らサポーター7人が協力しているほか、クロスハートでは近所の高齢の男性2人が買った品物を自宅に運ぶ助っ人も。

8月1日にクロスハートに買い物に訪れた80歳の女性は、トウモロコシ、スイカ、トマト、キビナゴの唐揚げ、カレーパンなどを買い込み、「新鮮な野菜やお魚、焼き立てパンが買えるので楽しみにしている」とニコニコ顔。自治会では「利用者を増やし、交流の場としても輪を広げていきたい」と話している。開催日の確認は掲示板で。

東北の被災者を 鎌倉に招待

未来連福プロジェクト

「未来・連福プロジェクト」(斉藤美代子代表)主催の第11回「福島の皆さんを鎌倉にご招待・建長寺で会いましょう!」が8月3〜5日の2泊3日で行われ、福島県広野町から幼児から高齢者まで40人が参加した。

同会は、子どもたちの健やかな発育を願って、地域の母親たちが中心となって2012年5月に発足。2013年3月から募金活動や演奏会などで集めた資金で東日本大震災の被災者を鎌倉に招待している。

広野町は、大津波で壊滅的被害を受け、さらに福島第一原子力発電所の事故で町民が近隣市町村に避難していたが、復興が進み帰還して生活している人も増えた。

一行は滞在中、円覚寺、鎌倉大仏を参拝し、鶴岡八幡宮、円覚寺を見学し、建長寺半蔵坊などを散策。夜は宿泊先の建長寺で交流歓迎会が行われ、演奏会やフラダンスなどでもてなされた。参加者の送迎、鎌倉での誘導、食事の支度や生活の世話、見学の案内、健康管理、歓迎会など小学生から大人まで200人近いボランティアが協力しており、初回から調理を担当しているグループは80代に。

斉藤代表は「寺社の方々の心のこもったおもてなしもあり、皆さんの応援に感動した。福島と鎌倉がつながりはじめていることを実感した」とこの催しの継続の意欲を示している。

鎌倉の夏の風物詩 ぼんぼり祭

鎌倉市雪ノ下の鶴岡八幡宮で8月6日から9日、「ぼんぼり祭」が行われた。

1938年(昭和13)に始められ、今年で86回目。鎌倉ゆかりの文化人などから揮毫された書画が大・小約400基のぼんぼりに仕立てて境内に掲揚された。

辰年に因んだ龍の絵や、市内在住の養老孟司さん、角川栄子さんらの作品が並び、連日多くの人で賑わった。ぼんぼりに灯が灯されると幻想的な夜が醸し出された。

第73回実朝祭短歌大会

神奈川県歌人会主催の第73回実朝祭短歌大会が8月9日、鶴岡八幡宮直会殿で開かれた。出詠は96首でうち18首が入賞した。大賞の鶴岡八幡宮賞は、「夏の娘(こ)がいま夏の子の母となるカンナのもゆるまばゆき真昼」秋山星華さん(岡山県)。鎌倉朝日賞は、「老いたればこそ人恋ほし丹の橋をしみじみ濡らし花の雨降る」杉山まるゑさん(鎌倉)。

スケッチ日和 (80)

由比ガ浜につながる 坂ノ下海岸はサーファー

「坂ノ下海岸」 黒川 明

この夕景を描きたくて場所を選んでいると、スマホに夢中になっている少女がいた。主役にピッタリである。背景には少年たちの姿もある。写真に収めて、さらに良い場所とアングルを求めて歩き回った。雲も波も、風もない穏やかな日だ。戻るともう少女はいなくなっていた。傾いた陽の中に岬が暗さを増して行く。子供のように夕方は寂しい。必ず、明日は来るのに。　水彩　31×41㎝

災害時の 一時滞在施設

藤沢・遊行寺も

大規模災害により発生した帰宅困難者の一時滞在施設に北鎌倉駅や鎌倉駅などを抱える鎌倉市の円覚寺や鶴岡八幡宮など市内の6つの社寺が選ばれている。

また江ノ島駅がある藤沢市でも龍口寺が選ばれていたが、このほど藤沢駅近くの遊行寺も加わり、市内2つの社寺となった。

東日本大震災(2011年)が発生し、行政当局によると鎌倉市で約5000人、藤沢市でも約4300人の帰宅困難者が出たという。

一時滞在施設は災害時、公共交通機関が影響で動かなくなったりする際に、帰宅が可能になるまで一時的に困難者を受け入れる施設だ。

鎌倉市では東日本大震災をきっかけに、13年に円覚寺、鶴岡八幡宮、14年に建長寺、長谷寺、鎌倉宮、23年に安国論寺と、それぞれ協定を結んだ。ほかに鎌倉芸術館など3施設が指定されている。

遊行寺

藤沢市でも23年に龍口寺、今年6月には遊行寺と、それぞれ協定を結んだ。ほかに藤沢市民会館や藤沢カトリック教会など14施設が指定されている。

鎌倉市の総合防災課の末次健治課長は「観光客が非常に多い場所でもあるので、訪れる際に災害リスクを知って動いていただくのが重要だと思う。帰宅困難者一時滞在施設の場所も知っていただくだけでもたいぶ違うと思う」。藤沢市の危機管理課の担当者は「遊行寺は敷地も広大で知名度もあり、災害時、藤沢駅の帰宅困難者の受け入れに期待している」と話している。

そろそろ車の売却をお考えの方

ハッピーカーズ鎌倉店へご相談を

車検時期になり、車検を通すか迷っている、また、免許更新時期で免許返納を検討している等、車を手放すことを検討されている人は、一度、ハッピーカーズ鎌倉店に相談してみてはいかがだろうか。

同店の坂野代表は「無料で査定に伺い、査定額を提示します。もし査定額にご納得いかなければ、ご遠慮なくお断りください」と話す。

同店は、大きな店舗を持たず、出張型の買取に特化することで固定費を削減し、買取額に還元、高額査定を実現している。また、他社で年式が古い、走行距離が多い等の理由で、査定額が0円や、処分料が掛かると言われた車も最低2万円以上で買い取ってくれる(1600cc以下は5千円以上)。

「契約後の減額は絶対にしません。代金は現金払い、名義変更の完了通知書も送付するので、安心してお任せください」。

休日も休まず営業しています

ハッピーカーズ 鎌倉店
☎0467・81・4641
HP: hc-kamakura.jp
9時〜20時・定休日なし

終の棲み家を考える (124) 防災対策

地震・水害・火災などいつ起きるかわからず、その大きさや範囲が予測できないものがほとんどです。それでもある程度の予想をして準備しておかなければなりません。行政も大きな災害が起きると法律でなるべく被害が大きくならない様に対策を立てています。

新築住宅は、建築確認と完了検査でチェックしていますが、古い住宅は検査がありません。行政は耐震診断を行い、その補強方法を示しています。地域によっては診断や工事に補助金を出しています。それが悪いわけではありませんが、自分の家は自分のもの、だから自分で直すのが基本です。

建て替えなくても現行の基準に近づけることができます。一度に全てをやろうと思うと大変な金額が掛かります。信頼のおける業者と優先順位を決めて少しずつ補強工事を進める事をお勧めします。金融機関と相談をして、住宅ローンを組む事もできます。趣のある昔ながらの住宅を末永く使っていく事で、日本の歴史や文化を後世に引き継いでいく事ができます。

合板・ベニヤ・ビニールクロス・樹脂で固めた家ではなく、日本古来の伝統工法の家を欧米並みに100年…200年と使っていけるといいと思います。貴方の家の近くにそんな相談ができる業者は必ずいます。

■日向建設　鎌倉市大船1−15−3
☎0467・47・5454　http://www.hyuuga.co.jp